

第38回滋賀県社会福祉学会 開催のご案内

●開催日 令和2年(2020年)2月21日(金)

●会場 滋賀県立長寿社会福祉センター

●大会プログラム

- 9:00~9:30 受付
- 9:30~9:40 開会式
- 9:50~12:30 自由研究発表(6分科会)
- 12:30~13:20 昼食・休憩
- 13:20~15:35 学会シンポジウム
- 15:35~16:00 閉会式(学会奨励賞発表)

●学会シンポジウム

テーマ「地域共生社会に向けて福祉従事者の役割を問う

～滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例制定から約1年を経て～

《趣旨》

平成31年3月22日に「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」が制定されてから、約1年が経とうとしています。条例の前文には、「障害の有無にかかわらず、一人ひとりに社会を変革する命の輝きがあることを信じて、共感と連帯、そして協働による共生社会を実現することを決意する」とあります。そして、その定義では、日常生活や社会生活において受ける制限は、障害のみに起因するものではなく、社会的障壁と相対することによって生ずるものとする、「障害の社会モデル」の考え方が示されています。

つまり、この条例は、社会的に不利な立場にある人の可能性が尊重され、地域社会のつながりの中で暮らすことができる、滋賀ならではの共生社会を県民が力を合わせて創っていかうというものと言えます。

条例が制定されて約1年、福祉サービスの担い手である全ての福祉従事者には、「自覚者が責任者」という先人の言葉を胸に、条例の内容をしっかりと捉え、社会に発信し、先導していく力が求められています。シンポジウムでは、「滋賀の福祉人」のロールモデルである実践者の方たちに、これまでの実践を通して得たこと、大事にしてきた価値、そして、条例に盛り込まれた理念や施策を実効性のあるものとするための思いを語っていただき、地域共生社会に向けて、「滋賀の福祉人」として、私たち福祉従事者が、どのような役割を果たしていくのかについて共に考える機会とします。

◎シンポジスト

角野 晃子さん

社会福祉法人グロー オープンスペースレガート 総合施設長
デイサービスセンターらく 管理者

桐高 とよみさん

特定非営利活動法人甲賀・湖南成年後見センターぱんじー 所長
滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例・地域アドボケーター

尾崎 史さん

認定特定非営利活動法人あさがお 理事

丸山 英明さん

滋賀県健康医療福祉部 健康福祉政策課 課長

◎コーディネーター

北野 誠一さん

特定非営利活動法人おおさか地域生活支援ネットワーク 理事長
滋賀県障害者施策推進協議会 会長



参加費：一般参加・発表参加者…1,200円 大学・短大・専門学校等学生…無料

高校生以下…無料 ※当日、受付にてお支払いください。

参加申込締切：令和2年2月14日(金)

※但し、定員(400名)に満たない場合は、締切日を越えても受け付けますので、お問い合わせください。

問合せ・申込先

滋賀県社会福祉学会事務局(滋賀県社会福祉協議会 事業部門)

電話：077-567-3924 FAX:077-567-5160 E-mail:shiga-gakkai@shigashakyo.jp

ホームページ：http://www.shigashakyo.jp/

